

# いの流水俳壇

## 「当季雑詠」

間 浩太選

### 遍路杖抱きて渡る太鼓橋

片岡 包女

(評)四国八十八ヶ所寺の四十三番明石寺から四十四番大宝寺への途中に、肱川の支流小田川を遡った山中深くに、番外札所があり、そこに「十夜の橋」がある。ある日行脚中の弘法大師がこの村にさしかかると、日が暮れたので、一夜の宿を乞うたが誰も泊めてくれない。仕方なく大師はこの橋の下で野宿をするのですが、寒いし、腹ペコだし、橋の上を通る人の杖の音がうるさいし少しも眠れず、その厳しさを、

「行きなやむ浮世の人を渡さずば一夜も十夜の橋と思ほゆ」と詠まれたと伝えられています。歩き遍路が、現在も橋の上で杖をつかないのは、橋の下にお大師さんが寝ているからとのこと。包女さんの、この句を拝見したとき、この十夜の橋が、頭に浮かびました。包女さんがどこの橋を詠まれたのか、わかりませんが、杖をつかれない橋は、ほかにもあるのか聞いていません。この句で杖をつかずにというところを杖を抱きてと詠んだのは、包女さんのお大師さんへの、敬愛の情を感じます。お大師さんの教訓の一つだと思います。

### 祖母の手でまあるく丸く草の餅

信清 澄恵

(評)餅を搗くときに、蓬の葉の茹であげたものを搗き加えると、美しい色になる。これで餡を包んだものが蓬餅。しかし草餅という名の方が通っているようだ。

桜餅に比べると、野趣がある。この句の「まあるく丸く」で、祖母が時間をかけて丁寧にまん丸く餅を作ったことがわかるし、また、まあるく丸くと、ひらがなと漢字で詠んでいるのがよく、「丸さ」の強調になって上手だと思います。祖母の昔からの手法で作った草餅はおいしいでしょう。

### 段畑の空へ明るき花菜風

川村 博子

(評)花菜は菜の花のことでもあり菜種の花でもある。暖かい土地では早春から畑一面に、黄色の花が咲きほこり匂う。春四月頃の田園風景は、早稲田の緑とれんげ畑の赤と、菜の花畑の黄とが代表する色。黄色は桃色とともに、最も暖かい春らしい色である。

「菜の花や月は東に日は西に」蕪村の句ですが、芭蕉他に多くの人が菜の花、花菜の句を詠んでいます。また菜の花の小学唱歌にも歌われています。

この句の段畑は、上へ上へと棚のように畑があり菜花が畑一面に咲いて、明るい黄色の花の中より生まれた風が空へ登ってゆくのを詠んでいて、山峡の風景が想像

像できる句です。

### 褪せてなお気品讃えし古雛

竹崎 光子

### 銀紙の折雛かざる辞書の上

岡本とも子

### 極楽を差して白木蓮聞てらす

竹崎たかひろ

### 流れなき流れに浮かぶ鴨の陣

大川 節弥

### せせらぎの音のかすかに猫柳

友草 水月

### 枯れ色の枝を彩る芽の青さ

岡村 嘉夫

### 啓蟄や健康体操メモを取る

井上 郁子

### ふと母の匂ひ感じる春の宵

小野川町子

### 冴返る娘の持ちし供花香を残す

田薦恵美子

### 春光の町並みまぶし遠目より

筒井 一平

### 雛祭り遠き昔の事きかな

森岡 照月

### セーターを解く思ひ出を解しつ

津田 久美

### 頂に白さを残し山笑らふ

間 浩太

次 題 「当季雑詠」五句  
締め切り 毎月五日

### 投句先

社会教育課

いの町3597  
画 89312012

## 平成24年度

### こども川柳年間優秀作品

#### ■最優秀賞

あいさつは 気持ちが良いなる おまじない

川内小6年 大久保朋美

(評)登下校の子どものたちとの「たいたいま」(こんにち)のあいさつにはつとせせられる大人たち、「ありがとう」「気を付けてね」の返事がはずな。終わりの「おまじない」に子どもらしさがあふれ、うれしさいっぱいの川柳です。

#### ■優秀賞

ひまわりは いつも笑顔で たのしそ

川内小6年 金田 莉音

(評)毎日楽しく過ごすことは大切なことですが、とてもむずかしい。ひまわりの花のように笑顔で過ごせるように、みんなと一緒がなばりましよう。

たのしいひ それはやっぱり 天気のお

川内小2年 ちだみそら

(評)雨の日は気持ちがいじめっぽくなるのは、大人も子どもも同じことです。雨にも風にも負けないで、元気に明るく育つてくれる子どもたちの姿に、元気をもらおう大人たちです。

#### ■入選

満月の 光まぶしき 秋の夜

川内小5年 山本 大樹

すず虫の 音色で心 いやされる

川内小6年 大久保朋美

パンジーを うえるとなぜか いいきもち

川内小5年 片岡 日南

きれいだな 山を見上げて 一人言

長沢小6年 曾我部真雪

冬の街 まけじとひかる 夜の星

川内小6年 野口 朱莉

やあみんな いいてんきだね げんきかな

伊野小3年 森田 瑠

赤とんぼ 田に飛びまわる 天使かな

川内小5年 池田 智貴

(注)こども川柳は町内全小学校の児童のみなさんを対象に募集しています。25年度初回提出締め切りは5月20日(月)です。たくさんの方の応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします。)

※選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。※学年は、平成24年度中のものです。